

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 概況

経営基盤である会員数は、コロナ禍が一向に収束しない中、多くの中小企業にとって厳しい経営環境が続いたが、年度末で87,826人と当初計画を上回り、10期連続の純増を達成することができた。

公益目的事業である退職金共済事業については、遵守すべき財務3基準に適合した決算となっており、適正な事業執行を行った。

福利共済事業については、前年度に引き続きコロナ禍を見据えた上で、オンライン型サービスの拡充や、従前より実施していた事業の一部開催形態変更を図り、臨機応変な事業執行に努めた。事業全体の利用者数は、コロナ禍前と比較すると乖離が大きい状況が続いているものの、前年度から21,308人増加する結果となった。

2 会員数、企業数

加入会員数は、コロナ禍による経済活動への影響が続く中、新規の大口加入はあったものの、前年度からは105人減の10,825人となった。それでも、9年連続で1万人の大口を確保することができた。

一方、退会会員数は、コロナ禍による影響が想定を下回ったことなどにより、前年度から441人減の9,534人となり、過去3年で最少となった。この結果、期末会員数は、前年度から1,291人増の87,826人となり、10期連続の純増となった。

会員企業数は、新規加入企業が前年度並みの277社となったが、退会企業数は会員数と同様の理由により前年度から45社減の264社となった。その結果、期末企業数は前年度から13社増の8,807社となり、3期ぶりに純増となった。

加入・退会実績

【会員数】

(単位：人)

年度	期首会員数 (A)	加入会員数 (B)	退会会員数 (C)	期末会員数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
平成28年度	77,325	11,603	9,178	79,750	2,425	103.1
平成29年度	79,750	11,513	9,115	82,148	2,398	103.0
平成30年度	82,148	11,562	10,047	83,663	1,515	101.8
令和元年度	83,663	12,177	10,260	85,580	1,917	102.3
令和2年度	85,580	10,930	9,975	86,535	955	101.1
令和3年度	86,535	10,825	9,534	87,826	1,291	101.5

【会員企業数】

(単位：社)

年度	期首企業数 (A)	加入企業数 (B)	退会企業数 (C)	期末企業数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
平成28年度	8,743	381	357	8,767	24	100.3
平成29年度	8,767	397	337	8,827	60	100.7
平成30年度	8,827	381	348	8,860	33	100.4
令和元年度	8,860	331	363	8,828	△32	99.6
令和2年度	8,828	275	309	8,794	△34	99.6
令和3年度	8,794	277	264	8,807	13	101.1

3 事業概要

(1) 当財団の事業体系

区分	事業名
公益目的事業	特定退職金共済事業
その他の事業 (相互扶助等事業)	事業主年金等共済事業
	福利共済事業
	① 余暇活動支援事業 ② 健康維持管理増進支援事業 ③ 自己啓発及び研修・表彰支援事業 ④ 生活安定支援事業 ⑤ 慶弔金贈呈事業 ⑥ 加入促進活動及び情報提供事業

(2) 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、公益目的事業である特定退職金共済事業を実施した。令和3年度は、委託生命保険会社1社が予定利率を引き下げたが、給付水準は維持し、加算給付を実施した。引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区分	令和3年度	令和2年度	対前年比
平均退職掛金月額	3,977 円	3,949 円	100.7%
退職掛金額	3,758,676,000 円	3,670,884,800 円	102.4%

イ 退職給付金支給状況

区分	令和3年度	令和2年度	対前年比
退職給付金支給者数	8,572 人	8,998 人	95.3%
退職給付金額	3,135,028,355 円	3,134,045,820 円	100.0%
平均退職給付金額	365,729 円	348,305 円	105.0%

ウ 運用利回りの状況

区分	令和3年度	令和2年度
総利回り	0.85%	0.83%
実質利回り	0.63%	0.61%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区分	令和3年度	令和2年度	対前年比
配当額	23,952,823 円	11,843,645 円	202.2%
配当率	0.07%	0.03%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区分	令和3年度	令和2年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	37,348,287,533 円	36,560,187,422 円	788,100,111 円	102.2%

カ 留保率 101.11%

※留保率…令和4年3月31日現在における要支給額（退職給付金の支払いに必要な額）に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和3年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	17,856,216,270 円	47.81%
住友生命	3,820,729,815 円	10.23%
第一生命	3,738,563,582 円	10.01%
明治安田生命	3,955,183,650 円	10.59%
富国生命	4,720,823,544 円	12.64%
太陽生命	1,299,720,406 円	3.48%
日本生命	235,294,211 円	0.63%
アクサ生命	1,721,756,055 円	4.61%
合計	37,348,287,533 円	100.00%

ク 予定利率 0.77%

※予定利率…令和3年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(3) 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員、及び個人事業主等のための退職金制度を独自の共済制度として、事業主年金等共済事業を実施した。令和3年度は予定利回りを維持し、配当を実施した。引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年比
平均退職掛金月額	10,895 円	10,233 円	106.5%
退職掛金額	1,186,643,400 円	1,124,201,000 円	105.6%

イ 退職給付金支給状況

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年比
退職給付金支給者数	655 人	687 人	95.3%
退職給付金額	972,416,674 円	1,070,269,912 円	90.9%
平均退職給付金額	1,484,606 円	1,557,889 円	95.3%

ウ 運用利回りの状況

区 分	令和3年度	令和2年度
総利回り	1.29%	1.24%
実質利回り	0.99%	0.94%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年比
配当額	16,996,304 円	10,900,869 円	155.9%
配当率	0.15%	0.10%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	11,946,944,277 円	11,638,289,484 円	308,654,793 円	102.7%

カ 留保率 100.00%

※留保率…令和4年3月31日現在における要支給額（退職給付金の支払いに必要な額）に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和3年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	2,531,557,492 円	21.19%
住友生命	1,150,490,734 円	9.63%
第一生命	1,355,978,175 円	11.35%
明治安田生命	1,261,597,316 円	10.56%
富国生命	1,352,394,092 円	11.32%
太陽生命	1,690,492,615 円	14.15%
日本生命	2,493,327,271 円	20.87%
アクサ生命	111,106,582 円	0.93%
合 計	11,946,944,277 円	100.00%

ク 予定利率 1.14%

※予定利率…令和3年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(4) 福利共済事業

会員と家族の余暇活動の充実、健康維持増進、生活の安定等を目的に自主事業及び助成事業並びに慶弔金贈呈事業を実施した。

これらの事業（下記ア～オ）を利用した人数は、前年度より21,308人(9.3%)増の250,934人となったが、コロナ禍前*とは乖離が大きい状況が続いている。

受取福利会費は、会員数増加に伴い前年度より約892万円増の約6億2,999万円となり、このうち約86.8%にあたる約5億4,705万円を福利共済事業費として執行した。

【延べ利用者数】

令和3年度	令和2年度	対前年増△減
250,934人	229,626人	21,308人(109.3%)

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：382,125人

ア 余暇活動支援事業

自主事業は、コロナ禍の影響により一部の事業を中止したが、多くの事業で開催形態を変更のうえ、臨機応変に対応した。

助成事業は、前年度1回のみ実施した自宅での余暇を充実させるための各種商品をプレゼントする企画「おうち時間も全力さぼーと」を通年実施したことや、人気助成施設の助成額増額を継続し、利用促進を図った。また、前年度から導入した「ローチケbiz+（ローチケbizプラス）」は、会員への浸透が進み、利用者数が前年度の約2.4倍となる約16,000人となった。

当該事業はコロナ禍の影響を大きく受けたが、参加人数は前年度を25,717人上回った。

【参加人数】

令和3年度	令和2年度	対前年増△減
150,562人	124,845人	25,717人(120.6%)

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：258,862人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《映画・演芸会・クラシックコンサート》		人
	親子映画鑑賞（3年度は映画鑑賞券プレゼント）	12月	10,010
	年忘れ演芸会	12月	1,097
	ニューイヤークラシックコンサート	1月	525
	写真教室	3月	23
	親子ひこうき見学会	中止	—
	《レクリエーション》		
	親子レクリエーション	2月	53
レクバス（遊園地特別助成含む）・日帰りバスツアー	7月～2月	5,904	
	小計		17,612
助成事業	UQ-JTB、じゃらんコーポレートサービス（旅行・宿泊）	通年	947
	円山動物園他道内のレク・娯楽施設入園	//	103,950
	スポーツ観戦(コンサドーレ・ファイターズ・レバンガ)	//	1,186
	映画館入場	//	2,195
	観劇・音楽会・美術展入場	//	1,343
	ローチケbiz+	//	16,002
	おうち時間も全力さぼーと！（特別企画）	4～1月	7,267
	ギフト購入助成（特別企画）	10～12月	60
	小計		132,950

イ 健康維持管理増進支援事業

健康維持管理事業として人間ドック、健康診断、インフルエンザ予防接種などの事業を実施し、健康増進支援事業として各種スポーツ大会の開催や市営体育館、スキリフト等への助成事業を実施した。

① 健康管理

一般より低廉な費用で健康診断を受けられるよう、市内 29 カ所の医療機関と助成契約を締結し、健診料の一部を会員に助成した。

また、市内 17 カ所の医療機関とインフルエンザ予防接種の助成契約を締結し、前年度に続き特別企画として助成額を 2,000 円に増額のうえ、接種料金の一部を助成した。さらに、前年度に実施した特別企画『家庭用常備薬等購入時の送料無料化』を、今年度は 1 回増やし、年 2 回実施した。

インフルエンザ予防接種助成利用者は前年度より約 1,600 人 (22.2%) 減少したが、全体の利用者数は令和 2 年度とほぼ横ばいになった。

【参加人数】

令和3年度	令和2年度	対前年増△減
19,856 人	20,015 人	△159 人 (99.2%)

※参考…令和元年度 (コロナ禍前) : 18,422 人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
助成事業	定期健康診断、健康度測定	通年	11,403 人
	人間ドック (1泊2日・日帰り・パブリック)	//	1,580
	部位ドック (心臓・脳・大動脈血管)	//	81
	がん検診(大腸・肺・乳・子宮・PET検査)	//	330
	インフルエンザ予防接種	10月～1月	5,627
	家庭常備薬あっせん (送料無料)	4月・10月	835
	合計		19,856

② 健康増進

一般より低廉な料金で市内外のスポーツ施設・健康施設を利用できるよう料金の一部を助成した。自主事業についてはコロナ禍の影響により、従前より集客型で行っていたスポーツ大会、子どもスポーツ教室を次頁のとおり中止または開催形態を変更した。また、前年度好調であったスキリフト利用助成は、令和 3 年度も特別企画として助成額を増額のうえ実施した。

さらに新しい試みとして、コナミスポーツとの提携により、ヨガレッスン等のオンラインセミナーを年 5 回実施した。

全体の参加人数については、断続的な緊急事態宣言の発令等により施設の営業自粛期間が生じた影響を受け、令和 3 年度も前年度を下回る結果となった。

【参加人数】

令和3年度	令和2年度	対前年増△減
58,943 人	63,565 人	△4,622 人 (92.7%)

※参考…令和元年度 (コロナ禍前) : 84,061 人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《スポーツ大会》		人
	パークゴルフ大会(3年度はスタンプラリー式)	6月～10月	144
	ゴルフ大会	中止	—
	エントリー式ボウリング大会	9月～11月	128
	《こどもスポーツ教室》		
	かけっこ教室	中止	—
	サッカー教室	中止	—
	野球教室	中止	—
	バスケットボール教室	中止	—
	《オンラインセミナー》		
コナミスポーツオンラインセミナー	5月～2月	167	
	小計		439
助成事業	市民マラソン等スポーツ大会参加	中止	—
	スキーリフト・スキーランチパック	12月～3月	22,101
	スケートリンク入場	通年	112
	スキースクール	中止	—
	スポーツクラブ利用	通年	17,500
	プール利用	//	4,290
	市営体育館等利用(テニスコート利用含む)	//	9,762
	ボウリング場利用	//	2,336
	ゴルフ場利用	4月～11月	116
	パークゴルフ場利用	//	2,283
スポーツ奨励等	通年	4	
	小計		58,504

ウ 自己啓発及び研修・表彰支援事業

自主事業では、業界や企業の発展に貢献した事業主及び会員に、社業の発展、職務精励などの功績を称え記念品を贈呈した。

助成事業では、オンライン学習講座「Schoo(スクー)」の新規導入により、6,200本以上の講座が常時受講できる環境が整い、新たな利用者層の開拓に努めた。

その結果、全体の参加人数は前年度から約150%増の1,043人となった。

【参加人数】

令和3年度	令和2年度	対前年増△減
1,043人	701人	342人(148.8%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):834人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	勤続(経営従事)功労記念品贈呈(30年・40年)	3月	人 415
助成事業	経営等セミナー	通年	100
	生涯学習講座	//	161
	オンライン学習講座「Schoo」※3年度新規	//	367
	小計		628

工 生活安定支援事業

① 融資あっせん事業

令和2年度から新規受付を中止しており、既存融資済案件が全て完済された時点で当該事業を廃止する予定である（令和6年度を予定）。

② 割引指定店事業

JTBベネフィット社の「えらべる倶楽部ライフ」を継続利用し、会員証呈示により全国62,000件以上のメニュー（ショッピング、レジャー、日帰り温泉など）で様々な優待特典を受けられるサービスを提供した。

オ 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金を贈呈した。件数は20,530件、金額は281,920千円となり、前年度より件数は30件(0.1%増)増加、金額は1,795千円(0.6%減)減少した。

また、10項目のうち成人祝金、出産祝金、永年勤続慰労金、還暦祝金、傷病見舞金、災害見舞金、死亡弔慰金の7項目で件数、金額共に前年度を上回った。

【贈呈内容】

項 目	令和3年度		令和2年度		対前年比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	件	千円	件	千円	%	%
① 成人祝金	146	730	139	695	105.0	105.0
② 結婚祝金	1,210	30,310	1,318	33,080	91.8	91.6
③ 出産祝金	1,691	33,820	1,629	32,580	103.8	103.8
④ 入学祝金	4,239	42,390	4,296	42,960	98.7	98.7
⑤ 永年勤続慰労金	8,364	87,625	8,265	86,740	101.2	101.0
⑥ 還暦祝金	1,432	14,320	1,374	13,740	104.2	104.2
⑦ 銀婚・金婚祝金	673	14,230	801	17,070	84.0	83.4
⑧ 傷病見舞金	794	15,880	768	15,360	103.4	103.4
⑨ 災害見舞金	9	130	3	70	300.0	185.7
⑩ 死亡弔慰金	1,972	42,485	1,907	41,420	103.4	102.6
合計	20,530	281,920	20,500	283,715	100.1	99.4

【贈呈額】

項 目	金 額(1件)
① 成人祝金	5,000円
② 結婚祝金	加入年数3年未満 加入年数3年以上
	20,000円 30,000円
③ 出産祝金	20,000円
④ 入学祝金	10,000円
⑤ 永年勤続慰労金	勤続5年 勤続10年 勤続15年 勤続20年
	5,000円 10,000円 15,000円 20,000円
⑥ 還暦祝金	10,000円
⑦ 銀婚・金婚祝金	銀婚 金婚
	20,000円 30,000円
⑧ 傷病見舞金	20,000円
⑨ 災害見舞金	損害程度に応じ3段階
	10,000円 30,000円 50,000円
⑩ 死亡弔慰金	会員 会員の配偶者・子（養子を含む） 会員の親（養親を含む） 会員の配偶者の親（養親を含む）・会員の子の死産
	50,000円 30,000円 20,000円 10,000円

カ 加入促進活動及び情報提供事業

加入促進活動は、緊急事態宣言等により訪問活動に一部影響があったものの、主軸活動となるダイレクトメール発送とその後のフォローコール、及びインターネット・リスティング広告をほぼ1年通して実施した。また、会員企業に対しては未加入企業の紹介を依頼し、会員数の維持拡大を図った。

加えて、With コロナ対応の一環として、リモートで制度説明ができる体制を整え、活動の効率化を図った。

情報提供事業では、便利で親しみやすい情報発信を心掛け、ホームページやTwitter、LINEなどのSNSツールを活用し、事業の利便性や魅力を発信した。

【事業内訳】

項目	内容
加入促進活動	① ダイレクトメール(5,645通)発送後、電話によるアフターフォロー並びに企業訪問 ② 既加入企業へ、未加入企業紹介の依頼 ③ 委託生命保険会社8社に対し加入促進の協力要請 ④ 税理士、社労士への関与先企業の紹介依頼 ⑤ 金融機関とのビジネスマッチング ⑥ インターネット・リスティング広告(Yahoo!、Google) ⑦ 地下鉄駅構内24駅25箇所に設置の「札幌市からのお知らせ」掲示板でのポスター掲示(年2回、各2週間程度) ⑧ 協同組合等新聞及び各種経済情報誌への広告掲載 ⑨ 経営者向けセミナーの実施 税務の基礎WEBセミナー(1/25開催、20名参加、三井住友海上火災保険との共催)
情報提供事業	① LINE、TwitterなどのSNS及びメールマガジンを活用したリアルタイムな情報配信 ② 制度概要説明の動画配信 ③ 制度パンフレットの配布 ④ 会員情報誌「さばさば」(年5回)、利用ガイドブック「さばガイド」(年1回)の発行 ⑤ ホームページを中心とした情報発信(ブログによる事業報告、お知らせ欄による変更内容周知、イベントカレンダーと申込フォームによる事業参加者募集など)

【資料請求・企業紹介実績】

(単位：件)

区分		令和3年度	令和2年度	対前年増△減
資料請求	請求件数	868	568	300
	加入実績	221	219	△2
企業紹介	紹介件数	83	86	△3
	加入実績	56	56	0

※加入実績には過年度の資料請求、企業紹介を含む

(5) その他【基幹系システムの開発について】

会員情報の管理や利用券の発行等に使用している基幹系システムについて、導入から約40年が経過していることから、会員サービス向上及び業務効率化を図るべく、令和3年度は現行業務の調査と今後の計画策定を実施した。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・計画策定	仕様検討・策定	業者選定・システム開発		システム稼働

4 会 議

(1) 理事会

ア 第1回 臨時理事会(令和3年4月 27 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 評議員会の招集と決議の省略(令和3年度第1回臨時評議員会)

イ 第1回 定時理事会(令和3年6月 10 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 1 令和2年度事業報告及び決算
2 退職金共済審査会委員の選任
3 評議員会の招集と決議の省略(令和3年度定時評議員会)

ウ 第2回 臨時理事会(令和3年6月 25 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 理事長(代表理事)、副理事長及び常務理事(業務執行理事)の選定

エ 第3回 臨時理事会(令和3年7月 29 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 評議員会の招集と決議の省略(令和3年度第2回臨時評議員会)

オ 第4回 臨時理事会

- 開催日 令和3年11月16日(火)
場 所 ニューオータニイン札幌
報告事項 1 理事長の職務執行状況
2 常務理事の職務執行状況

カ 第2回 定時理事会(令和4年3月3日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 1 慶弔金規程の一部改正
2 加入等に関する規程の一部改正
3 会計規程の一部改正
4 資産管理運用規程の一部改正
5 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)
6 役員等賠償責任保険の加入
7 評議員会の招集と決議の省略(令和3年度第3回臨時評議員会)

(2) 評議員会

ア 第1回 臨時評議員会(令和3年5月 13 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 1 評議員1名の選任
2 理事1名の選任

イ 定時評議員会(令和3年6月 25 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 1 評議員8名の選任
2 理事8名の選任
3 監事1名の選任
報告事項 令和2年度事業報告及び決算

ウ 第2回 臨時評議員会(令和3年8月 17 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 監事1名の選任

エ 第3回 臨時評議員会(令和4年3月 16 日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 令和4年度事業計画書及び収支予算書
報告事項 役員等賠償責任保険の加入

令和3年度事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告は事業報告書に記載のとおりであり、事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

